

小児・発達看護学 教育研究分野



私たちは...

子どもや家族の健やかに生きる力と可能性を生かすための看護を見出し、社会に寄与することを目標としています。子ども一人ひとりのメッセージや体験をしっかり受け止めながら、子どもの健康や発達の状況、家族や周囲との関係などをふまえて、保健医療チームのメンバーとしてその健康を増進するための実践的かつ専門的な看護の役割と機能について追及しています。

また、人は誕生から死に至るまで発達し続けるという生涯発達の考え方を基礎として、人が存在し育つのにどのようなことが大切なのかを看護の面から追及しています。



教育活動

✿ 学部 ✿

2年次前期：「小児看護学概論」

「小児発達看護論」

『子どもたち一人ひとりに子どもの権利が保障され、健康に育ち、自己実現できるための支援を目指した小児看護についての役割』や『小児各期の成長の意義と成長発達の特徴』を学びます。

2年次後期：「小児臨床看護論Ⅰ」

3年次前期：「小児臨床看護論Ⅱ」

『発達段階を踏まえたセルフケア能力を高める支援方法、意志決定を促すケア方法および健康問題をもつ子どもと家族に対する基本的看護援助方法』について講義や演習を通して学びを深めます。

3年次後期～4年次前期：「小児看護学実習」

実践を通して『看護援助が実践できるための知識・技術・態度』を修得します。



✿ 研究科 ✿

博士前期課程、博士後期課程を開設しています。それぞれの課程を修了された皆さんは岩手県内外の各方面で活躍しています。

地域貢献

岩手県内の病院で小児看護に携わる新人看護師を対象に、知識や技術のスキルアップにつながる研修会を開催しています。この研修会は、子どもと家族へのケアの向上を目指し、また、自らが自己研鑽する場として、身近な課題やテーマを取り上げています。

